

KS601523 新請求書（インフォコム送付用／NEOSS用）帳票分析書

KS60152P（新請求書電子帳票出力・エコデリバー分）の OUTFIL3 出力を、ソースと JCL から分析した結果と、架空データによる帳票イメージをまとめたものです。

帳票ID	KS601523	DD名	OUTFIL3（152 L28 で宣言：FILE RECORD OUTPUT ENV(CTLASA)）
SYSOUT	SYSOUT=(E, KS601523, 99)	DCB	RECFM=FA, BLKSIZE=133（JCL L595）
形式	1行133バイト（ASA + 132桁）・50行／ページ	入力	SQAIDA=TEMP. DAISEQ4J. WORK0700（JCL L583）
資料	KS60152P. pl1（2,274行・全行確認）、コピーブック SQAIDAA～D／CORPOMAN／SSYUPRNT／DDPTENMS、DAISEQ4J. jcl L579～L595、KS60151P_KS60152P_差異分析.md 作成：作業者C（2026-10-15）		

表記：「152 L〇〇」は KS60152Ppl1 の物理行です。**桁**は ASA 制御文字を除いた印字桁（1～132）で、レコード上のバイト位置は「桁 + 1」です。推測を含む記述には「（推測）」と付けています。

1. 概要

1.1 用途

- KS60152P が出力する3本の電子帳票のうちの1本で、OUTFIL3 に書かれる新請求書です。DCL のコメントは「インフォコム送付用」（L28）、1行目の店所CD を設定する行のコメントは「NEOSS 用は発行店」（L683）です。
- 1行目の店所CD は A-SPOOL の振分けキーです（L650 のコメント「A-SPOOL 振分用」）。KS601523 では**発行店**（SQHATNCD）で振り分けられます。
- どの部署・システムへ届くかは運用定義で確認が必要です（用途名はコメントからの推測を含みます）。

1.2 出力条件（対象になる顧客）

- 見出し1（SQHANLIN=00、SQHADTID=5）ごとに、荷主CD（SQHASQNO の先頭7桁）で優先印刷マスター VKSYUPR を読みます（L566～575）。
- VKSYUPR に無い顧客**は OUT_SW='1' のままになり（L572、L576～586）、その顧客の全行が OUTFILE（KS601521）と OUTFIL3（KS601523）の両方に書かれます。
- 入力 WORK0700 は、KS60135P が郵送対象店所（SEQTRYTN）に絞り、訂正（データID 31～33）を除いたデータを KS60144P で編集したものです（差異分析 §2.1）。

1.3 出力されない顧客

- VKSYUPR に有り、UPRNASKB ≠ '6' の顧客：OUT_SW='2' → KS601522（事業所送付用）だけに outcomes（L581）。
- VKSYUPR に有り、UPRNASKB='6'（明細不要）の顧客：OUT_SW='0' → **どの帳票にも出ません**（L579～580）。

1.4 KS601521（OUTFILE）との違い

項目	KS601521（OUTFILE）	KS601523（OUTFIL3）	根拠
対象顧客	同じ（OUT_SW='1'）。同じ行を同じ順で書く（WRITE は31 対すべて対）		§ 3
1行目 33～36桁 店所CD	DISTEN = CORPOMAN の代表扱い店 CORPZDTN（該当なしは発行店）	発行店 SQHATNCD	L588、L595、L680、L683
1行目 18～31桁 店所名	どちらも発行店（SQHATNCD）の略称 VETNSRNM。521 は代表扱い店が違うと 名称とコードが食い違う		L617～625、L649
2行目 126～132桁	どちらも集約代表コード OT2HICD（同じ値）		L601
3行目以降	完全に同じ		§ 3

CORPOMAN に該当が無いが、CORPZDTN = 発行店のときは、KS601521 と KS601523 は全行同じ内容になります。

1.5 KS601522・KS60151P 控え（KS601511）との違い

項目	KS601523	KS601522（OUTFIL2）	KS601511（151 控え）
対象顧客	VKSYUPR に無い顧客	VKSYUPR に有り、明細不要以外	全顧客（明細不要は1行目 57桁に #）
1行目 店所CD	発行店	発行店。ただし PRTN_FLG='0' かつ JITN_FLG='0' なら未収管理店 MISYU_TC（L692～693）	発行店
2行目	集約代表コード（毎回読み直すので全ページ正しい）	集約代表コード。ただし同じ荷主の2回目以降の見出し1では自分の荷主CD（差異分析 D-11）	空白行（西暦案内は終了）
入力データ	WORK0700（郵送対象店所・訂正除外）		WORK0635（全配信店・訂正含む）
3行目以降	レイアウト・編集ロジックは同じ（差異分析 §3.3）		

2. 印字行の定義表（1行目～50行目）

桁＝ASAを除く印字桁。SO/SIは漢字項目の前後に付くシフトコード（各1バイト）。数値の編集：Z＝ゼロサプレス（0は全桁空白）、負＝負数のときは別の PICTURE（'----9'型）で先頭に「-」を付けて編集。

行	桁	項目	編集元（変数・入力項目）	編集ルール	根拠（152）
見出し1（SQHANLIN=00・SQHADTID=5）：全ページ共通 OUT_1／OUT_2					
1	ASA	改ページ	OT1ASA='1'	見出し1のたびに改ページ。プログラム側の改ページはこれだけ	L561～563
1	2～8	荷主CD	OT1NICD←SQNO_1_7	SQHASQNO（12桁）の先頭7桁	L564、L600
1	11／17	仮締の括弧	OT1KAS1／OT1KAS2	SQHAKMKB=1（本締）は空白、それ以外（仮締）は「(」	L605～615
1	12～16	枝番	OT1SQNO←SQNO_8_5	SQHASQNOの後ろ5桁。99999のときは「----」	L602～604
1	18～31	発行店名	OT1ATNM←VETNSRNM	VKTENMSをSQHATNCDで読んだ店所略称（14バイト・SO/SI込み）。前回と同じ店所なら読み直さない。読めなければ「??？」	L617～625、L649
1	33～36	店所CD（A-SPOOL 振分）	OT1TNCD←SQHATNCD	発行店。OUTFILEへのWRITE直前にDISTEN（代表扱い店）を入れ、OUTFIL3のWRITE直前にSQHATNCDに戻す	L650、L680、L683
1	51～52	月（推測）	OT1MMM←SUBSTR(SQHAYYMM,1,2)	SQHAEYMD=250105のときだけ'01'固定。項目名は年月だが、特例で'01'を入れていることから月を表すと推測	L651～653
1	57	明細不要の印	OT1MHKB	'#'はOUT_SW='0'のときだけ設定されるが、その顧客はどこにも出力されない。KS601523では常に空白	L655～657
1	97～104	期間開始 YY MM DD	OT1SYY/SMM/SDD←SQHASYMD	97～98・100～101・103～104に西暦下2桁・月・日	L659～666
1	111～118	期間終了 YY MM DD	OT1EYY/EMM/EDD←SQHAEYMD	111～112・114～115・117～118	L667～674
1	128～131	ページ	OT1PAGE←SQHANPAG	PIC 'ZZZ9'（荷主ごとのページ番号）	L675
2	126～132	集約代表コード	OT2HICD←DISKEY	VKCORPOを荷主CDで読み、有ればCORPZAND、無ければ自分の荷主CD。ASAはINIT(' ')。1～125桁は空白。OUT_SW='1'の顧客は見出し1のたびに読み直すため、2ページ目以降も正しい	L131～134、L587～597、L601
3	—	空白行	—	1ページ目は4行目のASA='0'（2行送り）で空く。2ページ目以降はSPACEを書く（下記）	L796、L718～733
見出し2・1ページ目（SQHADTID=6 かつ SQHBNPAG=1）：OUT_4～OUT_12					
4	4～11	顧客郵便番号	OT4PSN1/PSNS/PSN2←SQHBYUNN／SQHBYUNO	新番号SQHBYUNN（7桁）が空白か0なら旧番号SQHBYUNO（5桁）：先頭2桁が'00'なら3～5桁目だけ、そうでなければ1～3桁＋（4～5桁が'00'／空白でなければ）「-」＋4～5桁。新番号は「999-9999」	L796、L799～824
4	67～78	ご請求額合計	OT4SQKN	本締：SQHBUNTI＋SQHBRYOK＋SQHBTTAX＋SQHBHOKRをPIC 'ZZZZ,ZZZ,ZZZ'（負は'----,-9'）。仮締：0（空白）	L826～834

行	桁	項目	編集元（変数・入力項目）	編集ルール	根拠（152）
5～8	3／4～31／32	顧客住所1～4	0T5JYU1～0T8JYU4←SQHBJKA1～3	JS_EDIT_SUB_RTN で上中下段を連結し、空白位置で28バイト以内×4行に分割。4行目が空なら1行ずつ下げる（5行目が空白になる）	L837～858、L2165～2226
6	91～99	（空白）	0T6TENK	常に空白9桁	L860
6	112～127	担当営業所名	0T6HTNM←SQHBHTEN	8～13バイト目が「（営）」なら、先頭7バイト+「 営業所」に置換。それ以外はそのまま	L862～865
7	47～105	請求額内訳（7項目）	0T7HUNT(47～55) HRY0(56～63) HSKE(64～72) HTAX(73～80) HHOK(81～88) HGKE(89～97) HSER(98～105)	本締：UNTI、RYOK、UNTI+RYOK、TTAX、HOKR、4項目合計、SQHBTKENK（サ-チャ-ジ・TENK_FLG='1' のときだけ）。Z 編集、負は「-」付き。仮締：全て0（空白）	L867～903
7	106～129	店所郵便番号	0T7TJY1←VETNPSNA／VETNPSNB	「〒」+PSNA 1～3+「-」+PSNA 4～5+PSNB。店所はSQHBTKNCD（請求店）でVKTENMSを読む。読めなければTENMSをクリア	L904～916
8～10	106／107～128／129	店所住所1～3	0T8TJY2、0T9TJY3、 010TJY4←VETNADNM	VETNADNM の2～23、24～45、46～67 バイト（SO/SIを付け直す）	L917～922、L1138～1140
10～12	3／4～31／32（12行目は4～19）	荷主名1～3	010HNM1、011HNM2、 012HNM3←SQHBHEAD+SQHBNAME	NM_EDIT_SUB_RTN：法人格（SQHBHEAD 2～7）+名称（40）+空白2+名称 44～63 を30バイト以内で3分割。2・3行目が空なら1行目を2行目へ、2行目だけ空なら3行目を2行目へ。SO/SI はSQHBNAME 先頭がX'0E'（漢字）のときだけ付ける	L923～964、L2228～2272
10～11	47～94	振込先銀行	010BAN1、011BAN2←VKBANKM （SQHBBANK／SQHBBAN1+ SQHBTKNCD）	銀行名+空白2+支店名。1銀行（SQHBBAN1=0）：10行目に銀行名（48～89）、11行目に預金種目（70～75）「口座番号」（76～85）番号（86～92）。2銀行：10・11行目に各1行。名称長で4通り（24／28／30／32バイト）に詰め、種目・「口座N」等+番号（87～93）。銀行が読めなければ空白	L966～1136
11	105～128	店所電話番号	011TTEL←VETNTLNO	空白7+「TEL:」+VETNTLNO。店所 1301 だけは固定の電話番号文字列	L1142～1149
11	129	振込区分	011FURI←SQHBTKB3	1 なら「*」	L1152～1154
12	21～36	顧客電話番号	012TELH、012TELN←SQHBDTEL	「Tel」（21～24、SO/SI込み）+SQHBDTEL（25～36）	L1156～1157
見出し2・2ページ目以降（SQHBNPAG>1）					
3～9	—	空白行×7	SPACE	DO JJ=3 TO 9 で7行	L718～733
10～12	3／4～31／32（12行目は4～19）	荷主名1～3だけ	OUT_10_2～OUT_12_2	1ページ目と同じ分割・詰め規則。ただし SO/SI を無条件に付ける（1ページ目はカナ名なら付けない）。郵便番号・住所・金額・銀行・店所欄は出ない	L734～769
13～14行目（全ページ共通）					

行	桁	項目	編集元（変数・入力項目）	編集ルール	根拠（152）
13～14	12～90	検品の見出し	MIDK_1、MIDK_2	SQHBKENP=1 のとき。13行目：「* * 検品」(12～21)「検品個数」(48～57)「検品料」(83～90)。14行目：「* * 月日 * * * * * * * * * *」(12～45)「有り無し」(47～58)「*」×25(59～83)	L260～279、L1202～1211
13	—	空白行	SPACE	検品でないとき	L1230～1231
14	78～84	サーチャージ見出し	MID_SUR1 'サーチャージ'	検品でなく TENK_FLG='1'（SQHAEYMD>080919）のとき。それ以外は空白行	L288～292、L707～709、L1232～1242
明細（SQHANLIN が 00・90・91・98・99 以外、SQHADTID=0）：15～47行目（最大33行） MEISAI					
15～47	1～12	送り状番号	MEI_OKN01・'-'・ MEI_OKN02←SQHCOKNO	11桁を 5桁-6桁 に編集。0なら空白	L1857～1866
	13～16	元着区分	MEI_MCKB←SQHCMCKB	1＝「元」、2＝「着」、他は空白。検品明細は「検」	L1867～1875、L2074
	17～20	月日	MEI_MMDD←SQHCMDD	0 なら空白	L1876～1878
	21～32	着地名	MEI_CHNM←SQHCCHNM	そのまま（先頭「*」も同じ。地名マスター参照はコメントアウト）	L1879～1913
	33～46	品名	MEI_SHNM←SQHCCHNM	そのまま	L1918
	47～121	数量・金額 12欄	KOSU (47～51) JRYO (52～57) UNCN (58～65) SHUH (66～71) KOSO (72～77) DAIB (78～83) SONN (84～89) ZIKN (90～95) HOKN (96～101) TATE (102～107) WARI (108～113) GOKEI (114～121)	Z 編集、負は MEISAI_D で「-」付き。 TAX_KB1(SQHAZKKB)=0（税分割）：ZIKN 欄に税、合計に加算。TAX_KB2(SQHAZKK1)=1 なら ZIKN=0（空白）で合計に入れない。TAX_KB1≠0（税含み）：TAX_KB2≠1 なら UNCN 欄に UNCN + ZIKN	L1915～2030
	122～132	区分・店所・備考	MEI_TSKB (122～123) MEI_TENS (124～127) MEI_BIKO (128～132)	通常：SQHCTSKB、SQHCTENS、SQHCBIKO 1～5。 BIKO 9～12='KKKK'：店所欄=BIKO 1～4、備考=5～8（軽油引取税）。BIKO≠空白かつ TSKB=空白（検品以外）：「着」「必着」をカナに置換し、BIKO 1～2／3～6／7～10 を3欄へ	L2032～2068
	58～121	検品明細の上書き	KNP_MEISAI	品名14桁目「」かつ着払い（SQHCMCKB=2）のとき：「運送送状⇒」(58～69)、SQHCTELN + BIKO 10～12(70～83)、運賃等計 GOKEI1(84～89)、税(90～95)、合計 GOKEI2(114～121)、備考=BIKO 1～5	L375～386、L2070～2128
計（48～50行目）：通常計 SQHANLIN=91／99 KEI・MID_SUR2					
～47	—	改行	SPACE ×（SQHDNSKP-1）	TENK_FLG='1'：LINE_CNT<47 のとき。サーチャージ以前：LINE_CNT<48 のとき	L1419～1439、L1462～1482
48	72～78	サーチャージ見出し	MID_SUR2 'サーチャージ'	TENK_FLG='1' かつ LINE_CNT<48	L293～297、L1440～1458
49	6～15、36～122	ページ小計	KEI（SQHANLIN=91・DTID=3）	請求区分 SQHDSQKB 1～10（SQHDPKBN='1' の元着別は空白）+ 金額12欄。LINE_CNT=49	L1707～1847
49	—	空白行	SPACE	SQHANLIN=99 で LINE_CNT<49 のとき	L1489～1507

行	桁	項目	編集元（変数・入力項目）	編集ルール	根拠（152）
50	24～35、36～122	区分合計・総合計	KEI（SQHANLIN=99・DTID=3／9）	KEI_HED：DTID=9 は「送り状合計」。DTID=3 は SQHDHDID で決定（0：PKBN 0/7/8＝送り状合計、1＝元払い計／着払い計／元着別計（直前明細の元着）、2・3＝請求区分計、4＝着地計、5＝着県計、6＝日付計、他＝「_____計」／3＝訂正計／2＝支払変更計／9＝検品料計／4～6＝その他計／他＝「_____計」）。LINE_CNT=50	L1485～1705
	36～122	計の金額12欄	KOSU(36～41) JRY0(42～48) UNCN(49～57) SHUH(58～64) KOSO(65～71) DAIT(72～78) SONN(79～85) ZIKN(86～92) HOKN(93～99) SONT(100～106) WARI(107～113) GOKEI(114～122)	明細と同じ税区分の規則。Z 編集、負は KEI_D で「-」付き	L340～373、L1572～1691
計（48～50行目）：検品計 SQHANLIN=90／98（DTID=3） KNP_KEI・MID_KGO					
～47	—	改行	SPACE ×（SQHDNSKP-1）	LINE_CNT<47 のとき	L1269～1289
48	25～48	検品合計見出し	MID_KGO	「検品個数⇒ 有り 無し」。LINE_CNT<48 のとき	L281～286、L1290～1308
49	6～15、36～122	検品ページ小計	KEI（90）	KEI_SQKB＝「検品料」＋金額	L1336～1337、L1392～1405
49	—	空白行	SPACE	98 で LINE_CNT<49 のとき	L1314～1332
50	24～122	検品料合計	KNP_KEI（98）	「検品料 計」(24～35)、個数(36～41)、重量(42～48)、その他料金(79～85)、税(86～92)、保険(93～99)、立替(100～106)、割引(107～113)、計(114～122)。税含みで TAX_KB2 ≠ 1 なら SONN＋ZIKN	L388～399、L1310～1405

サーチャージ見出しの位置（14行目 78～84、48行目 72～78）は、明細の DAIB 欄（78～83）・計の DAIT 欄（72～78）に重なります。その欄の見出しをサーチャージに読み替えるための上書きと推測されます（推測）。各欄の業務名は変数名からの推測を含みます。

3. OUTFILE と OUTFIL3 の WRITE 対応表

Grep OUTFIL3 の結果：DCL（L28）と WRITE 31文だけ。OPEN（L514～521）・CLOSE（L2153～2160）には無し。
OUTFILE の WRITE も31文で、すべて同じ IF OUT_SW=' 1' ブロック内で OUTFIL3 と対になっています。OUTFILE だけに書いて OUTFIL3 に書かない行、その逆はありません。内容の差は L680／L683 の OT1TNCD だけです。

No	OUTFILE	OUTFIL3	レコード	印字行	条件（OUT_SW='1' の IF）
1	L681	L684	OUT_1	1	L676 ※L680／L683
2	L682	L685	OUT_2	2	L676
3	L722	L723	SPACE	3～9（2ページ目以降）	L719
4～6	L764／765／766	L767／768／769	OUT_10_2／11_2／12_2	10～12（2ページ目以降）	L761
7～15	L1162～L1170	L1171～L1179	OUT_4～OUT_12	4～12（1ページ目）	L1159
16～17	L1208／1209	L1210／1211	MIDK_1／MIDK_2	13～14（検品）	L1205
18	L1230	L1231	SPACE	13	L1227
19	L1235	L1236	MID_SUR1	14	L1227+L1232
20	L1240	L1241	SPACE	14	L1227+L1232
21	L1277	L1278	SPACE	検品計前の改行	L1274
22	L1297	L1298	MID_KG0	48	L1294
23	L1321	L1322	SPACE	49（検品合計）	L1318
24	L1395	L1396	KEI（KNP_KEI）	49／50	L1392
25	L1427	L1428	SPACE	計前の改行（サーチャージ有）	L1424
26	L1447	L1448	MID_SUR2	48	L1444
27	L1470	L1471	SPACE	計前の改行（サーチャージ以前）	L1467
28	L1496	L1497	SPACE	49	L1493
29	L1695	L1696	KEI	50（区分合計・総合計）	L1692
30	L1837	L1838	KEI	49（ページ小計）	L1834
31	L2133	L2134	MEISAI	15～47（明細）	L2130

複数行を書くブロック（No 4～6、7～15、16～17）は OUTFILE をまとめて書いてから OUTFIL3 を書きますが、ファイルごとの行の順序は同じです。

4. 改ページ・行数制御

- 改ページは見出し1の ASA='1' だけです（L563）。LINE_CNT を見てプログラムが改ページする処理はありません。ページの区切り・明細の行数・計までの改行数（SQHDNSKP）は、上流の KS60144P が作ったデータに従います。
- LINE_CNT は印字行の位置を数えるだけで、計の前で 48／49／50 に強制的に設定されます（L1307、L1331、L1457、L1506、L1705、L1847）。
- OUT_SW が '0' や '2' の顧客でも LINE_CNT は同じように加算されます（WRITE の有無と無関係）。

記録（SQHANLIN/DTID）	書く行	LINE_CNT
見出し1（00/5）	1～2行目	0→2 L561, L701
見出し2 1頁目（00/6）	[3行目は ASA' 0'] 4～12行目	3→12 L797, L1199
見出し2 2頁目～（00/6）	3～9行目（空白） 10～12行目	→9→12 L732, L783
”（共通）	13～14行目	→14 L1258
明細（他/0）	15行目～（1件1行）	+1 L2143
通常計（91・99/3・9）		
TENK_FLG=' 1'	<47なら空白×（NSKP-1）	+1ずつ
	<48なら MID_SUR2（48行目）	=48 L1457
サーチャージ以前	<48なら空白×（NSKP-1）	+1ずつ
91/3 ページ小計	KEI（49行目）	=49 L1847
99/3・99/9	<49なら空白（49行目）	=49 L1506
	KEI（50行目）	=50 L1705
検品計（90・98/3）	<47なら空白×（NSKP-1）	
	<48なら MID_KG0（48行目）	=48 L1307
90 ページ小計	KEI（49行目）	+1 L1405
98 検品合計	<49なら空白（49行目）=49 → KNP_KEI（50行目）	

- 1ページ＝50行：1～2 見出し1、3～14 見出し2、15～47 明細（最大33行）、48 サーチャージ／検品合計見出し、49 ページ小計、50 合計。
- 最終ページでない場合は49行目のページ小計で終わり、50行目は次の見出し1の改ページで空きます。
- TENK_FLG は見出し1で SQHAEYMD>080919 なら '1'（L707～709）。現在のデータでは常に '1' です。
- 明細が33行を超えた場合の防止策はプログラムにはありません（上流の頁割りが前提）。

OUTFIL3 SYSOUT=(E,KS601523,99) | 1行133バイト（ASA+132桁）・50行／ページ | 架空データによる再現イメージ

1	2345678	00001	架 空 中 央 支 店	2104	10					26 09 01	26 09 30	1
2												2340001
3												集約代表CD
4	999-0012											87,967
5												
6	架 空 県 テ ス ト 市										中 央 港 営 業 所	
7	港 南 区 サ ン プ ル 町 3 丁 目 4 番 地				79570		79570	7957	440	87967	1100	〒 999-9901
8	テ ス ト ビ ル 5 階											架 空 府 架 空 市 サ ン プ ル 町
9												2 丁 目 3 番 4 号
10	（ 株 ） サ ン プ ル 物 産				サ ン プ ル 銀 行		本 店 営 業 部	普 通	口 座 No. 1234567			
11	経 理 部				架 空 信 用 金 庫		駅 前 支 店	当 座	口 座 No. 7654321			TEL:06-0000-0000 *
12	Tel 06-0000-1111											
13												
14												
15	04012-3000001	着	0901	札 幌 市	サ ン プ ル シ ョ ウ シ ン	1	5	2640		サーチャージ		3025 2104
16	04012-3000008	元	0901	仙 台 市	テ ス ト サ ン キ ャ ヨ	6	18	1150	330			1628 2104
17	04012-3000015	元	0902	新 潟 市	カ ク ウ フ ツ サ ン	5	31	1870	220			2299 2104
18	04012-3000022	着	0903	金 沢 市	ミ ホ ン シ ョ ウ カ イ	4	44	2200				2420 2104
19	04012-3000029	元	0904	名 古 屋 市	タ ミ ー ト レ ー テ ー イ ン ク	3	7	1320	330	110		1936 2104
20	04012-3000036	元	0905	京 都 市	サ ン プ ル シ ョ ウ シ ン	2	20	980		550		1683 2104
21	04012-3000043	元	0905	大 阪 市	テ ス ト サ ン キ ャ ヨ	1	33	3080				3388 2104
22	04012-3000050	着	0906	神 戸 市	カ ク ウ フ ツ サ ン	6	46	1540	330		110	2167 2104
23	04012-3000057	元	0907	岡 山 市	ミ ホ ン シ ョ ウ カ イ	5	9	2640		110		3025 2104
24	04012-3000064	元	0908	広 島 市	タ ミ ー ト レ ー テ ー イ ン ク	4	22	1150				1265 2104
25	04012-3000071	着	0909	高 松 市	サ ン プ ル シ ョ ウ シ ン	3	35	1870	330			2420 2104
26	04012-3000078	元	0909	福 岡 市	テ ス ト サ ン キ ャ ヨ	2	48	2200				2420 2104
27	04012-3000085	元	0910	熊 本 市	カ ク ウ フ ツ サ ン	1	11	1320	220	110		1815 2104
28	04012-3000092	元	0911	那 覇 市	ミ ホ ン シ ョ ウ カ イ	6	24	980	330			1441 2104
29	04012-3000099	着	0912	札 幌 市	タ ミ ー ト レ ー テ ー イ ン ク	5	37	3080		550		3993 2104
30	04012-300106	元	0913	仙 台 市	サ ン プ ル シ ョ ウ シ ン	4	50	1540				1694 2104
31	04012-300113	元	0913	新 潟 市	テ ス ト サ ン キ ャ ヨ	3	13	2640	330	110		3388 2104
32			0915*	一 括 付 替 *	ツ ケ カ エ			-1320				-1452T 2104
33	04012-300127	元	0915	名 古 屋 市	ミ ホ ン シ ョ ウ カ イ	1	39	1870			110	2167 2104
34	04012-300134	元	0916	京 都 市	タ ミ ー ト レ ー テ ー イ ン ク	6	52	2200	330			2783 2104
35	04012-300141	元	0917	大 阪 市	サ ン プ ル シ ョ ウ シ ン	5	15	1320		110		1573 2104
36	04012-300148	着	0917	神 戸 市	テ ス ト サ ン キ ャ ヨ	4	28	980				1078 2104
37	04012-300155	元	0918	岡 山 市	カ ク ウ フ ツ サ ン	3	41	3080	330			3751 2104
38	04012-300162	元	0919	広 島 市	ミ ホ ン シ ョ ウ カ イ	2	54	1540		550		2299 2104
39	04012-300169	着	0920	高 松 市	タ ミ ー ト レ ー テ ー イ ン ク	1	17	2640		110		3025 2104
40	04012-300176	元	0921	福 岡 市	サ ン プ ル シ ョ ウ シ ン	6	30	1150	330			1628 2104
41	04012-300183	元	0921	熊 本 市	テ ス ト サ ン キ ャ ヨ	5	43	1870				2057 2104
42	04012-300190	元	0922	那 覇 市	カ ク ウ フ ツ サ ン	4	6	2200	220			2662 2104
43	04012-300197	着	0923	札 幌 市	ミ ホ ン シ ョ ウ カ イ	3	19	1320	330	110		1936 2104
44	04012-300204	元	0924	仙 台 市	タ ミ ー ト レ ー テ ー イ ン ク	2	32	980			110	1188 2104
45	04012-300211	元	0925	新 潟 市	サ ン プ ル シ ョ ウ シ ン	1	45	3080				3388 2104
46	04012-300218	着	0925	金 沢 市	テ ス ト サ ン キ ャ ヨ	6	8	1540	330			2057 2104
47	04012-300225	元	0926	名 古 屋 市	カ ク ウ フ ツ サ ン	5	21	2640	220	110	550	3872 2104
48										サーチャージ		
49	通 常 便					115	903	59290	4510	990	2200	6699 330 74019
50												

顧客A（荷主 2345678）1ページ目／2ページ。■1行目 33～36桁＝2104（発行店 SQHATNCD、L683）。同じ顧客の KS601521 では、この位置が 3001（CORPOMAN の代表扱い店 CORPZDTN、L680）になる。■2行目 126～132桁＝集約代表コード 2340001（CORPZAND）は KS601521 と同じ。明細33行（15～47行目）、48行目サーチャージ見出し、49行目ページ小計。
行番号は ASA 制御文字（'1' 改ページ、'0' 2行送り、' ' 1行送り）を解釈した印字行。SO/SI は空白1桁として表示。品名14桁目の「」は「~」で表示。金額・名称・番号はすべて架空。

5. 帳票イメージ 現行出力イメージ (KS60152P) 2 / 4 ページ

発行店 (521は3001)													2340001		集約代表CD			
(株) サンプル物産 経理部																		
サーチャージ																		
04012-300232 元 0924 京都市 サンプルシヨウシ													2 20 980		550 153		1683 2104	
04012-300239 元 0924 大阪市 テストサンキョウ													1 33 3080				3388 2104	
04012-300246 着 0925 神戸市 カクウツサン													6 46 1540		330 187		110 2167 2104	
04012-300253 元 0926 岡山市 ミホンシヨウカイ													5 9 2640		110 275		3025 2104	
04012-300260 元 0927 広島市 タミートレーディング													4 22 1150				115 1265 2104	
04012-300267 着 0928 高松市 サンプルシヨウシ													3 35 1870		330 220		2420 2104	
通常便																		
送り状合計													21 165 11260 660		110 550 1258 110		13948	
													136 1068 70550 5170		1100 2750 7957 440		87967	

行番号は ASA 制御文字（'1' 改ページ、'0' 2行送り、' ' 1行送り）を解釈した印字行。SO/SI は空白1桁として表示。品名14桁目の「」は「~」で表示。金額・名称・番号はすべて架空。

OUTFIL3 SYSOUT=(E,KS601523,99) | 1行133バイト（ASA+132桁）・50行／ページ | 架空データによる再現イメージ

1	5678901	00002	テ ス ト 東 支 店	3001	10	26 09 01	26 09 30	1
2								5670000
3								集約代表CD
4	999-0203				5,445			
5								
6	架 空 道 テ ス ト 市						テ ス ト 東 支 店	
7	北 区 み ほ ん 通 7 丁 目	4950	4950	495	5445		〒 999-8802	
8							架 空 道 テ ス ト 市 東 区	
9							ひ が し 町 5 番 地	
10	（ 有 ） テ ス ト 倉 庫		サ ン プ ル 銀 行	東 支 店				
11	物 流 セ ン タ ー				普 通	口 座 番 号 2345678		
12							TEL:011-000-0000	
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
31								
32								
33								
34								
35								
36								
37								
38								
39								
40								
41								
42								
43								
44								
45								
46								
47								
48								
49								
50								

顧客B（荷主 5678901）**検品料**ページ。SQHBKENP=1 のため13～14行目は検品見出し（MIDK_1／MIDK_2）。明細は検品明細（品名14桁目「」かつ着払い → KNP_MEISAI で「運送送状⇒」等を上書き）。48行目「検品個数⇒ 有り 無し」（MID_KGO）、49行目空白、50行目「検品料 計」（SQHANLIN=98）。CORPZDTN=発行店（3001）なので、この顧客は KS601521 と**全行同じ**。2行目は集約代表コード 5670000。
行番号は ASA 制御文字（'1' 改ページ、'0' 2行送り、' ' 1行送り）を解釈した印字行。SO/SI は空白1桁として表示。品名14桁目の「」は「~」で表示。金額・名称・番号はすべて架空。

KS601523 新請求書（インフォコム送付用／NEOSS用）

OUTFIL3 SYSOUT=(E,KS601523,99) | 1行133バイト（ASA+132桁）・50行／ページ | 架空データによる再現イメージ

1	7890123	-----	架空北部支店	4401	10								26 09 01	26 09 30	1
2															7890123
3															自分の荷主CD
4	999-01														18,304
5															
6	架空県サンプル郡														架空北部支店
7	みほん町大字テスト123番地				16540			16540	1654	110		18304	220	〒999-7701	
8															架空県サンプル市北町
9															1番1号
10								架空銀行 北支店							
11	みほん商店								普通	口座番号	3456789				TEL:011-111-0000
12															
13															
14															
15	04012-455001	着	0903	金沢市	ミホンシヨウカイ	4	44	2200					220		2420 4401
16	04012-455008	元	0903	名古屋市	タミートレーテ ⁺ インク ⁺	3	7	1320	330		110		176		1936 4401
17	04012-455015	元	0904	京都市	サンフ ⁺ ルシヨウシ ⁺	2	20	980				550	153		1683 4401
18	04012-455022	元	0905	大阪市	テストサンキ ⁺ ヨウ	1	33	3080					308		3388 4401
19	04012-455029	着	0906	神戸市	カクウフ ⁺ ツサン	6	46	1540	330				187	110	2167 4401
20	04012-455036	元	0907	岡山市	ミホンシヨウカイ	5	9	2640			110		275		3025 4401
21	04012-455043	元	0907	広島市	タミートレーテ ⁺ インク ⁺	4	22	1150					115		1265 4401
22	04012-455050	着	0908	高松市	サンフ ⁺ ルシヨウシ ⁺	3	35	1870	330				220		2420 4401
23															
24															
25															
26															
27															
28															
29															
30															
31															
32															
33															
34															
35															
36															
37															
38															
39															
40															
41															
42															
43															
44															
45															
46															
47															
48															
49	通常便					28	216	14780	990				220	550	1654 110 18304
50	送り状合計					28	216	14780	990				220	550	1654 110 18304

顧客C（荷主 7890123、枝番 99999 → 「-----」）。CORPOMAN に該当なし：■2行目は自分の荷主CD 7890123（L597）、■1行目店所CD は発行店 4401（DISTEN も発行店のまま、L588）。このため KS601521 と全行同じ。郵便番号は旧番号（SQHBYUNO=99901 → 「999-01」）。荷主名は1行だけなので11行目へ下げる。1銀行の形式。
行番号は ASA 制御文字（'1' 改ページ、'0' 2行送り、' ' 1行送り）を解釈した印字行。SO/SI は空白1桁として表示。品名14桁目の「」は「~」で表示。金額・名称・番号はすべて架空。

6. 注意点・要確認事項

No	項目	内容	根拠 (152)
1	OUTFIL3 の暗黙 OPEN／CLOSE	OPEN 文・CLOSE 文に OUTFIL3 がありません。最初の WRITE（通常は L684）で、宣言の属性（RECORD OUTPUT ENV(CTLASA)）により暗黙に OPEN されます。CLOSE はプログラム終了時の暗黙 CLOSE に頼っています。正常終了なら出力は確定しますが、意図した書き方ではない可能性が高く、移行時は明示的に OPEN／CLOSE することを推奨します。	L28、L514～521、L2153～2160
2	対象が0件のとき	入力が0件、または全顧客が VKSYUPR に有る（OUT_SW='1' の顧客がいない）場合、OUTFIL3 は一度も OPEN されません。OUTFILE／OUTFIL2 は明示 OPEN／CLOSE されるので「0行のデータセット」になりますが、OUTFIL3 は OPEN されないまま 終わります。JES・A-SPOOL が空の帳票として扱うか、何も出さないかは 実機で確認が必要 です。KS601523 と KS601521 は対象顧客が同じなので、0件になる条件も同じです。	L572～585、L676～686
3	コメントの用途名の食い違い	OUTFILE は DCL では「インフォコム」（L26）、L679 では「エコデリバー用」。OUTFIL3 は DCL では「インフォコム送付用」（L28）、L683 では「NEOSS 用」。振分け先は運用定義（A-SPOOL のライター名 KS601523）で確認してください。	L26、L28、L679、L683
4	KS601521 の1行目は名称とコードが不一致になりうる	店所名（18～31桁）は両帳票とも発行店の略称ですが、KS601521 の店所CD は代表扱い店です。KS601523 は名称・コードとも発行店で一致します。	L649、L680、L683
5	2ページ目以降の荷主名の SO/SI	1ページ目はカナ名なら SO/SI を付けませんが、2ページ目以降（OUT_10_2～12_2）は無条件に SO/SI を付けます。カナ名の顧客は2ページ目以降で荷主名が化ける可能性があります（KS601521／522、KS60151P も同じ構造）。	L736～744、L925～947
6	D-11 の影響	見出し1のたびに DISKEY を自分の荷主CD に戻す件（差異分析 D-11）は、VKSYUPR に有る顧客（KS601522）だけに影響します。KS601523 の顧客は VKSYUPR の読み込みが毎回失敗して UPRNNICD が変わらないため、毎回 VKCORPO を読み直し、2行目は全ページ正しい値になります。	L566～598
7	日付・店所の固定値	SQHAEMYD=250105 のときだけ1行目の月を '01' にする（L651～652）、店所1301 の電話番号を固定文字列にする（L1146～1147）など、固定値の分岐が残っています。今後必要が確認してください。	L651～653、L1142～1149
8	行あふれの防止策なし	LINE_CNT による改ページ判定はありません。明細が33行を超えたり、SQHDNSKP が実際の行位置と合わなかったりすると、50行の枠からはみ出します。KS60144P の頁割りが前提です。	L1269～1307、L1419～1506、L2143
9	再実行時の二重配信・RC	SYSOUT に直接出力するため、再実行すると KS601523 も二重に配信されます。RC を設定する処理（PLIRETC）も ON ERROR もありません（差異分析 §2.3）。	—
10	VKCORPO を読めないとき	VKCORPO に該当が無いと、DISKEY = 自分の荷主CD（L597）、DISTEN = 発行店（L588）になります。このとき KS601521 と KS601523 は全行同じです（帳票イメージ 4ページ目）。	L587～597

確認方法：KS60152Ppl1 全2,274行を通読し、OUTFIL3・OUTFILE・OUTFIL2 を Grep して WRITE 位置と条件ブロックを照合しました。コピーブック（SQHAIDAA～D、CORPOMAN、SSYUPRNT、DDPTENMS）で項目長を確認し、各出力レコードの合計が133バイトになることを検算しています。帳票イメージの会社名・住所・番号はすべて架空です。